

平成 29 年度

2017 年 4 月 15 日

# 学校だより

第 2 号

ヒューストン日本語補習校

## 平成 29 年度 教育方針等

### 1 教育目標

「日本語のできる子どもに国語力、算数・数学の基礎的知識を身につけさせ、より一層国際的感性を高める」

### 2 めざす子ども像

- ・ことばを大切にし、豊かな日本語表現ができる子ども
- ・お互いの個性や文化を尊重し、国際社会に積極的に生きる子ども
- ・自ら進んで学び、健やかに未来を展望する子ども
- ・生命人権を尊重し、思いやりのある子ども
- ・豊かな社会性や人間性を持ち、責任を持って行動する子ども

### 3 めざす学校像

「学ばせたい学校 学びたい学校 学んでよかった学校」

- ・安心して学べる学校
- ・学びの喜びを得られる＝成長の実感を得られる学校

### 4 基本理念

- 「教育とは認めることである」
  - ・子どもたちのよさや可能性、頑張りや成長をさまざまな角度から見る力と態度  
→安心感、信頼感 →自己肯定感、他者への寛容的態度（肯定的認容）→自己実現の意欲の向上、社会構成力の向上 ➡「生きる力」
- 「一人一人が大事にされる学校」
  - ・人格の尊重…子どもに対しても、大人に対しても
  - ・人間尊重を自他に…人として誇りを失わない  
教師、児童生徒
- 「教師は一生をかけて教師となる」
  - 成長する教師、信頼される教師…学びの姿勢
  - ・ふだんの授業づくりから、見直しから
  - ・子どもから 他の教師から 保護者から
  - ・研修会から 書籍より

## 《平成 29 年度入園・入学式》

岩崎竜司首席領事より

### 「お祝いの言葉」（概要）



本日入園・入学された皆さん、おめでとうございます。日本で4月といえば、桜の季節です。ヒューストンでは日本の様に桜を楽しむことは出来ませんが、ブルーボネットの季節です。ご家族と

既に楽しまれた方はどれくらいおられるのでしょうか？

桜とブルーボネットのお話をさせていただいたのは、ここは外国である、ということをお伝えしたかったからです。アメリカは、我々日本人にとっては親しみやすく、また、英語も比較的なじみのある言葉です。と言っても、やはり外国です。その外国で、皆さんは、平日は現地校、土曜日は補習校、全く違う二つの学校生活を送っています。忙しい毎日ですが、とても素晴らしい経験だと思えます。皆さんは、アメリカ社会の強さと明るさ、ダイナミックさ、そして、日本人の落ち着きと思いやり、そして緻密さを、共に確実に学びとり、自分のものにすることができている環境にいます。

だからこそ、先生方も、保護者や運営委員会の皆さんも、この補習校を守り発展させることに全力を尽くされています。日本国内だけでは決して得られない貴重な体験を、園児児童生徒の全員が、ここヒューストンで分かち合うことのできるよう、大変な苦勞を払われています。どうぞ元気で仲良く、補習校での新たな1年を送ってください。また、安全な1年を送ることも、何より大切です。総領事館も先生方とも協力して安全対策の強化に力を入れていきたいと考えております。

テキサス、ヒューストンはアメリカの国内外からの人々がどんどん集まってきています。2016年に人口が最も増加したカウンティに、ヒューストンのあるハリスカウンティも全米トップ10に入っております。日本の方々も増えています。今は約4300人です。昨年から30人も増えました。このような環境で皆さんが勉学に励み、今後皆さんが大きくなって再び戻ってこられることを期待します。そのためにも、やはり勉強を頑張ってください。

保護者の皆さま、ご家族園児児童生徒のご入園・ご入学、そしてご進級をお慶び申し上げます。平成29年度を通じて、ヒューストン日本語補習校がますますの発展を遂げ、園児児童生徒のすべてが無事で安全に、愉快的思い出を重ねることができそうです、ご尽力を賜りたいと存じます。

園児児童生徒皆さんへのお祝いとともに、ここにご列席・ご参集の皆さまにたくさんのお願いを申し上げます。総領事館もまた、補習校の維持発展のため、しっかりと職責を果たしていくことは勿論です。このことをお約束し、ご挨拶とさせていただきます。

## 新入生の言葉

### 高等部新1年 マッコウリー 慧莉香



初夏を香わせる暖かい日々が続く中、私は本日、二週間前に卒業したばかりであるヒューストン日本語補習校のドアを、高校生として新たな気持ちでくぐりました。

今日は平成 29 年度ヒューストン日本語補習校新入生の為にこのような盛大な式を催していただき、誠にありがとうございます。校長先生を始め、諸先生方ならびに来賓の皆様、心より御礼申し上げます。

先程から校長先生や来賓の皆様からあたたかいお言葉を頂戴することができ、感無量であります。

本日、この場に立つことができるまで、私は沢山の方々から 感謝し切れないほどの支えを頂いてきました。中学の途中で転入した私は、補習校と現地校の両立や、3年間のブランクがあった日本語でのコミュニケーションへの不安でいっぱいでした。初日に中学二年の教室へ足を踏み入れた時の緊張は今でも忘れられません。そんな不安の中で救ってくれたのは、私が馴染めるように優しく話しかけてくれたクラスメイト、熱心なご指導をくださった先生方、そして、励ましの言葉をかけてくれ、いつでも味方でいてくれた両親です。そんな数え切れない支えの中、共に卒業できた仲間とまた同じ場で新しい補習校生活を送れることをとても嬉しく思います。

私は、ヒューストン日本語補習校には、勉強だけでなく、規則正しい生活の基本、協調性、そして現地校だけでは身につけることのできない責任感や礼儀などを学ぶことができる特権があると考えます。人間として成長すると同時に自らの才能を開花させ、「なりたい自分」を探し出すことのできる絶好の場だと思うのです。

私たち新入生は、この学校で過ごせる数年、この学校で学べる数年に、得る事のできるものに対する期待に胸を大きく膨らませています。

高校に進学すれば、今までよりも頻りに補習校を去る仲間を見送る機会があるでしょう。一方新しく出会う友人もいることでしょう。そんな別れの予感に悲しみを感じながらも、新しい出会いにも心が弾みます。悲しみと期待が入り混じった、そわそわともどかしい気持ちもするものです。

現地校では、高校に進学することで、補習校での定期試験だけではなく、SAT や ACT などの、

大学受験に向けての全国統一テストなども増えていきます。今までとは違い、余裕を持ってのんびりしてはられないな、と10年生の終わりになり、痛感しました。

その上でさらに、毎週土曜日の補習校の高校を続けていくためには、今まで以上の覚悟が必要だと思います。幸い、補習校の高等部には、ソフトボール繋がりや仲良くしてくださっている先輩方も通っており、沢山の憧れや目標が目の前に溢れ出るような環境になるだろうと思っています。その中で私もめげずに、努力を継続させ、バイオメディカルの夢に向かって自身を高めていければ、と願います。人生で一度しかない晴れの高校生活です。この場で友情を育みながら、学習面と生活面両方が充実した、悔いのない日々を過ごしていきたいです。

私たち新入生一同はヒューストン日本語補習校の生徒としての誇りを持ち、その名に恥じぬよう実りある学生生活を送れるよう励んでまいります。校長先生ならびに諸先生方、そして先輩方にはあたたかいご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

以上を持ちまして新入生代表の挨拶の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

### 中学部新1年 曾根崎 巧真

僕たちは、中学生になりました。今、未来へ一歩ふみ出したのです。まず、僕たちを今までサポートしてくださった先生方、保護者の方々、そして友達に感謝の気持ちを伝えたいと思います。皆さんのサポートは必要不可欠であり、どれか一つでもかけていたら、今僕たちはここにいることはできなかつたろうと思います。ありがとうございました。



中学生になると、自主的に物事を考え、自分の意志で動くということがとても大切になります。学校の授業、課外活動なども自分の頑張り次第で結果が大きく変わるからです。中学生になると周りの人の意見やアドバイスを聞くことも重要になってきます。周りの人の意見を聞くことで、自分だけでは乗り越えられないことでも、乗り越えられるようになるからです。そして、中学生になると友達関係も今まで以上に大切になってきます。中学校で出会った友達は、卒業してからも関係はきっと続いていき、

一生の友達になれると思うからです。

補習校に通い日本の中学校とアメリカの中学校の教育の仕方や文化の違いに接する事で混乱してしまう時もあります。しかし僕にとって関わりの深いこの二つの国の教育や文化にふれ、比べる事はとても興味深くためになる事です。だから補習校は僕にとって、とても魅力的な場所です。初めての中学校生活は、希望や楽しみであふれていますが、その反面、不安や困難もあります。でもそのような時には、自分自身の努力に加え、保護者の方々、先生方、ご来賓の方々、そして友達のお励ましを支援に、新たな環境で成長できるように励んでいきたいと思っています。

### 中学部新1年 片山 結



日本では桜が満開になり、入学式や始業式などのイベントでとても忙しくなる時期です。

私は、今日から中学生になりました。私も一度「六年生」までいったものの、今日からまた、「一年生」です。新高校一年生のみなさんも、「三年生」から「一年生」になります。

約六年前、私が日本の小学校の一年生だったとき、毎日、重い荷物を持ち片道三十分以上の通学路を歩いて学校に通っていました。今は、親に送り迎えをしてもらいとても楽ですが、時々、「一年生」だったころの自分を思い出すことがあります。

私は、中学でボランティア活動に参加したいと思っています。中一としてできるボランティアは少ないと思いますが、誰かのためになることをしたいです。運動会など全校が協力し合うイベントでのボランティア活動が特に楽しみです。

ところで、みなさん、補習校では新中学一年生だけど、現地校では6thグレードのままだし、あんまり入学を実感しないよ。」そう思っているのは私だけではないと思います。これは新入生だけでなく在校生のみなさんへのメッセージでもあります。今、年度の始まりの時に気持ちを入れ替えて、新しくフレッシュなものにしてください。そう言われても・・・と戸惑っているみなさんもいるかもしれませんが、今年度どんなことにチャレンジしてみたいかを考えるだけでもいいのではないのでしょうか。「昨年度の自分」を「今年度の自分」に入れ替えて、最高のスター

トダッシュを切りましょう。

ヒューストンで、桜は満開になりませんが、新しく一年生になったみなさん、そしてもちろん在校生のみなさんの笑顔という花を満開にしてください。楽しく学びながら成長し、ヒューストン日本語補習校中学校の生徒としての誇りを持ち、実りある中学校生活を送りたいと思います。

最後になりましたが、校長先生、先生方、そして先輩方にはあたたかいご指導をよろしく願います。

## 歓迎の言葉

### 中学部新2年 本城 宇誓

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございませう。これから始まる新しい生活に、大きな期待を抱いていることと思います。



中学部に入ると理科の授業も加わり、4教科を学ぶことになります。みなさんはこのことを当たり前のように感じているかもしれません。しかし、私はそうではありませんでした。なぜなら私は、小6の1学期までテキサス州オースティンで生活し、補習校にも通っていましたが、小学部1年に入学した時は、国語の授業のみであったからです。私が2年生になる頃、保護者や先生方が新しく算数の導入を検討し始めてくださいました。しかし、導入に反対する声も多かったため、結局、選択制という形でようやく実現されたそうです。ですから、6年生の夏にヒューストン補習校に入学した時は、社会の授業があることに驚き、又、中学で理科の授業を受けられることを嬉しく思いました。

さて、中学生になると、今まで以上に現地校との両立が大変になるとと思いますが、ヒューストン補習校に通えることは、とても恵まれているということを知ってほしいと思います。楽しい授業をしてくださる先生方や、切磋琢磨し合える仲間との存在は、皆さんを大いに成長させてくれることでしょう。

今日から、気持ちを新たに、自分たちの周囲には支えてくれる人たちがいるという感謝の心を忘れずに、一緒に頑張っていきましょう。

今日から、気持ちを新たに、自分たちの周囲には支えてくれる人たちがいるという感謝の心を忘れずに、一緒に頑張っていきましょう。





## お兄さん・お姉さんからの歓迎の言葉

小学部新2年 有田 絆

ようちえんのみなさん、ごにゅうえんおめでとうございます。ほしゅこうはとてもたのしいところです。なぜかという、うんどうかいやおんがくかいやおたんじょう日かいがあります。そして、やすみじかんはなかよしのおともだちとそとであそぶことができます。

みなさんも、一年かん、先生とおともだちといっしょに、ひらがなとけいさんのべんきょうをたのしくできるといいですね。一しょに土よう日をたのしみましょう。

小学部新2年 浅山 春

ようちえんせいのみなさん、にゅうえんおめでとうございます。ぼくは、一ねんかんほしゅこうにかよってみてとてもたのしかったです。とくに、おともだちといっしょにおしゃべりをしながらたべるおひるごはんは、とてもたのしいじかんです。そして一ねんせいのあいだに、ひらがな、カタカナ、かん字がかけるようになりました。とてもうれしかったです。

ぼくはきょうから二ねんせいです。幼稚園せいのみなさんもちのしくがんばりましょう。

小学部新2年 高橋 朋花

しん一年生のみなさんご入学おめでとうございます。わたしはこくごがすきです。どうしてかという、かん字とカタカナをならって、もっとむずかしい本をよめるようになるからです。音がくもたのしいです。音がくではリコーダーをならいます。はっぴょうかいに、ならったきよくをふきます。みなさんがんばっておべんきょうをして、しゅうにいかいのほしゅこう校をたのしみましょう。

小学部新2年 曾根崎 翔大

しん一年生のみなさん小学校ご入学おめでとうございます。ぼくは入学しきのとき一年生になるとどんなことをするのか少しふあんでこわかったです。でも一年生ではあたらしいことがたく山ありました。うんどうかいではときょうそうがありました。音楽会ではみんなでリコーダーをふきました。ひらがなとカタカナとかん字をおぼえているいろいろな本がよめるようになりました。クラス



のみななかみしばいもつくりました。一年生はたのしいことがものすごくいっぱいあります。だからこわがらないでたのしい一年生をすごしてください。

## 〈平成28年度卒業証書授与式より〉

### 『送辞』 中学部旧2年 本村 奏



今日の朝、私の心の中にはビバルディの春という音楽が聞こえてきます。ヒューストン日本語補習校を卒業される皆さん、おめでとうございます。

現地校と補習校の両立は厳しく、決して楽しい事ばかりではなかったと思います。ここに通う生徒は、長く住んでいる人も、日本から来たばかりの人も、環境は違っても、みんな同じように抱えているストレスは、はかりしれないでしょう。

私はアメリカ生まれで、日本語学習への目標を持ってないまま、補習校へ通い続ける事に苦しんできました。

そうして何年か経った時、補習校はオーケストラ演奏に似ていると気が付きました。学生達は色々な楽器を持っています。時々リズムがおかしくなったり、演奏者が変わったり、1人が間違っただけの音を出してもなんとか前へ進みます。そして、先生達は指揮者。必ず、曲の終わりを成功へ導きます。オーケストラには様々な曲があります。高い音から低い音、メインパートもソロ演奏もあり、オペラ歌手はオーケストラ全体の上に立ちます。

そんな中、私の歌声はオーケストラの中にいつも飲み込まれ、私はいつも自分に自信を持っていませんでした。けれども中学に入り、音楽に自分の道を見つけてから、おとなしい人はピアノッシモ、大声で笑う人はフォルテッシモ。忙しい人はテンポの速い曲。補習校はそんなバラエティに富んだ演奏者と、間違いを直して、正しく導いてくれる指揮者で作り上げるクラスでいいんだと思えるようになりました。小さい間違いを直していけば、少しずつ自分がステップアップできる。そういったことが、シンプルに自信につながると思えたのです。それから私の気持ちが少し楽になりました。

今は、補習校へ通う事が前ほど苦痛ではなくなってきています。日本語が将来どのように役立つかはわからないけれど、私の人生を豊かなものにしてくれると思っています。人は誰でも、他人より良い人生を送りたいと思いがちですが、才能や知識は人間が判断できるものではないと思います。目標に向かって自分が楽しむこと、そして、幸せを感じることを探す事に、人生の意味があると思います。自分自身を満たしてあげることが大

切だと思えます。そして、自分が幸せを感じる事のできる目標に向かって進むためには、失敗を悔やみ続けたり、そのことで自分を責めたりしないことが必要です。

小学六年生の皆さん、不安と期待があると思いますが、忙しさの中で、プレッシャーに負けずに、切り抜けてほしいと思います。もし、悩んだり苦しくなったりした時は、周りを見てください。ここにいる先輩達は、皆同じ経験をした人達です。先生方も力になってくださいます。理解者がいるのを忘れないでください。

中学三年生の皆さん、ここまでの道のりを尊敬いたします。これからも私達の道しるべになってください。卒業を迎えた達成感と充実感を私たちに伝えていってほしいと思います。

卒業生の皆さん、あなたはどんな音を弾いていますか？心に残る音でしたか？これからも、皆さんがきれいな音色でありますように応援しています。今日こうして学校生活の中の大きな区切りの日を迎えられた皆さんに心からお祝いを申し上げます。

ご卒業おめでとうございます。

## 『免責に関する同意書』

### の提出について

本同意書につきましては、本校への入園・入学・転入時に提出いただいておりますが、内容等についての再確認の意味も含め、今年度より毎年4月当初に全園児・児童・生徒の保護者より提出していただくこととなりました。

つきましては、4月8日に全園児・児童・生徒に配付しております「免責に関する同意書」に表面は英文で、裏面は日本語で必要事項（上部に園児・児童・生徒氏名及び学年、下部に記載した日付・保護者サイン・保護者氏名）を記載していただき早急に担任に提出していただきますようお願いいたします。

## 授業料等の納入について

平成29年度の授業料・教材費等の納入についてのお知らせを、一斉メール配信しています。期限までに小切手にてお支払い（郵送）して頂きますようお願いいたします。

## 保護者カード着用のお願い

保護者の皆様が補習校へ入る場合は、不審者侵入の抑止力として、保護者カードの着用をお願いしています。

## 《今後の予定》 変更する場合があります

- 4/22 新年度 PTA 役員会、
- 4/29 避難訓練（2校時）  
新年度 PTA クラス委員会、PTA 総会
- 5/6 短縮日課（午前中のみ）
- 5/13 学習参観・学級懇談会  
（小学部4・5・6年、中学部）
- 5/20 学習参観・学級懇談会  
（小学部2・3年、高等部）
- 5/27 学習参観・学級懇談会  
（幼稚部、小学部1年）  
中高等部中間考査①、PTA 役員会

## 《学籍》

転入  
梅村あす香（小2C）、関根紅陽（小3B）  
梅村ふう香（小5A）、関根白圭（中1B）  
転出（本日付け転出予定者）  
なし  
在籍数（4月15日現在）566名  
幼73名、小364名、中93名、高36名

Japanese Language Supplementary School of Houston  
12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077  
Tel: 281-531-6743 / Fax: 281-531-6795（事務局 火～金）  
Tel.Fax: 713-973-0659（職員室 土のみ）  
E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

（文責）校長 立野誠之